

医学研究科倫理審査委員会議事要旨

日 時：平成 26 年 1 月 22 日(水) 午後 3 時 00 分～午後 4 時 15 分

場 所：医学部研究棟 会議室 1

出 席：鈴木貞夫委員長、杉浦真弓副委員長、青木康博委員、齋藤伸治委員、薊隆文委員、
藤井聡委員、向井晴史委員、安藤究委員、金子義明委員

欠 席：村上信五委員、新実彰男委員、三島晃委員、平岡翠委員

1 持ち回り委員会等結果（報告）

委員長より別紙のとおり、平成 25 年度第 4 回倫理審査委員会以降に、持ち回り委員会等により承認された研究課題の報告がなされた。

2 審議案件

(1) 受付番号：929

研究課題名：尿路結石患者における腎乳頭部のマクロファージ発現解析に関する研究

申 請 者：腎・泌尿器科学講師 安井 孝周

①審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・申請書（様式 1）「9. 研究対象者およびその人数」について、対象者数を断定しない記載（「～名程度」等）が望ましい。また対象者数の設定根拠を記載すること。
- ・説明書「研究への参加をお願いする理由」について、コントロールの研究対象者との研究は直接関係がないことを明記するなど、コントロールの研究対象者へ配慮した記載内容に変更すること。
- ・説明書「研究への協力について」の 4 行目「患者さんにご負担を強いることはありません。」との文言を「患者さんに新たなご負担を強いることはありません。」と変更すること。
- ・説明書「研究に参加した場合に予想される利益および不利益」について、「生検操作による出血～」の一文を削除すること。また「患者さん個人の利益はありません」との文言を「患者さん個人の利益はありませんが医学の発展に貢献頂ける可能性があります。」と変更すること。

②結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。

(2) 受付番号：930

研究課題名：尿路結石の形成に係わる血中・尿中マクロファージ関連蛋白の発現に関する研究

申 請 者：腎・泌尿器科学講師 安井 孝周

①審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・申請書（様式 1）「9. 研究対象者およびその人数」について、対象者数を断定しない記載（「～名程度」等）が望ましい。また対象者数の設定根拠を記載すること。
- ・説明書「研究への参加をお願いする理由」について、コントロールの研究対象者との研究は直接関係がないことを明記するなど、コントロールの研究対象者へ配慮した記載内容に変更すること。
- ・説明書「研究への協力について」の項目に、研究用に余分に採血することを明記すること。
- ・説明書「研究に参加した場合に予想される利益および不利益」について、「患者さん個人の利益はありません」との文言を「患者さん個人の利益はありませんが医学の発展に貢献頂ける可能性があります。」と変更すること。

②結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。

(3) 受付番号：934

研究課題名：小児発達障害と血中内因性カンナビノイドとの関係に関する研究

申請者：環境保健学 講師 伊藤 由起

①審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・申請書（様式1）「13. 個人情報の保護」の(2)個人情報管理補助者の記載を「①置かない」に変更すること。（研究責任者が管理者のひとりになることは望ましくないため）
- ・同意の取得方法について、「研究への参加」と「研究終了後の試料の保管・利用」を包括的に取得しておくか別々に取得するかを選択し、関連の記載箇所を修正すること。

②結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。

(4) 受付番号：924

研究課題名：大腸ポリープから癌への進展を予測する遺伝子変化の同定

申請者：消化器・代謝内科学 臨床研究医 澤田 武

①審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・申請書（様式1）「9. 研究対象者およびその人数」について、対象者数の設定根拠を記載すること。

②結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。

3 その他

(1) 倫理審査委員会委員の増員について

齋藤伸治委員（新生児・小児医学 教授）の就任が紹介された。

以上